

重要なお知らせ

2010年（平成22年）1月

一般社団法人日本産業・医療ガス協会
医療ガス部門会員会社各位

一般社団法人 日本産業・医療ガス協会
会長 田口 博

在宅酸素療法実施中の患者様の火災事故防止について (説明徹底のお願い)

題記の件につきましては、平成18年12月在宅酸素部会長名で、続いて、平成19年4月には会長名にて、文書をお送りしております。

各会員会社では、機器設置及び定期検診などの機会に、在宅酸素療法を行う患者さんならびにご家族に対し、安心して安全に使っていただけるよう機器の使用方法及び注意点などについて資料を示して説明し、併せて火気への注意、禁煙を守る重要性についても繰り返し説明を行っていただいております。

また、酸素供給装置に、「火気厳禁」及び「禁煙」を強調した警告の標示を行うことや、医療ガス部門在宅酸素部会にて作成したDVD『在宅酸素療法における火気取扱いの注意』の活用もすすめていただいております。

しかしながら、本年に入ってから、在宅酸素療法を実施中の在宅患者様の居宅において、酸素吸入中の喫煙による火災が原因で、患者様が死亡される事故が数件発生しております。

会員各社各位におかれましては、火災事故防止の徹底を図るべく、患者様・ご家族と接する際に、酸素吸入中の喫煙及び火気の危険性を充分ご説明し、更なる安全対策に万全を期して戴きますよう、重ねてお願い申し上げます。

なお、万が一火災事故が発生した場合には、在宅酸素部会にて定めている「事故報告制度」（平成21年2月会報参照）に従い、速やかに報告してください。

以 上

※患者様及び患者様のご家族への 「火気厳禁」に関する説明について

1) 「酸素」について

酸素は、燃焼を助けるガス（支燃性ガス）であるため、酸素が火にふれると火が大きくなり、患者様の衣服や近くの物に燃え広がり、重度の火傷を負ったり、住宅の火災を生じる恐れがあること。

2) 注意すべき「火気」について

- 酸素吸入中は、喫煙厳禁。喫煙中の人にも近寄らない。
- 酸素吸入中は、高熱の熱源、特に裸火（タバコ、ライター、ストーブ、マッチ、ロウソク、線香など）の周囲2メートル以内に近づかない。
- 火気に近づく必要があるときは、必ず酸素吸入を一時中断する。
- 外したカニューラや延長チューブを裸火の周囲2メートル以内に近づけない。
- 機器の近くに燃えやすいものを置かない。（火災になった時、被害を大きくする恐れがある）

※火気の手扱いに注意し、取扱説明書どおりに正しく使用すれば、酸素が原因でチューブや衣服等が燃えたり、火災になることはないので、過度に恐れることなく、医師の指示どおりに酸素を吸入すること。

<参考>

- 一般社団法人日本産業・医療ガス協会会長宛て

「在宅酸素療法における火気の手扱いについて」

（平成22年1月15日 厚生労働省医薬食品局安全対策課長 通知）

（薬食安発0115第3号）

「在宅医療用酸素使用中の火気使用に関する注意喚起について（要請）」

（平成21年10月29日 経済産業省原子力安全・保安院 通知）

（平成21・10・23 原院第3号）

- 各都道府県衛生主管（局）長宛て

「在宅酸素療法における火気の手扱いについて（注意喚起及び周知依頼）」

（平成22年1月15日 厚生労働省医政局総務課長、医政局指導課長、

医薬食品局安全対策課長 連名通知）

（医政総発0115第1号、医政指発0115第1号、薬食安発0115第1号）

在宅酸素療法を実施している 患者居宅で発生した火災による重篤な健康被害の事例

一般社団法人 日本産業・医療ガス協会
在宅酸素部会

当協会会員会社において、平成15年10月以降に発生した「在宅酸素療法実施中の患者居宅で発生した火災による重篤な健康被害の事例」を調査・集計しましたのでご報告致します。

各会員会社では、在宅酸素療法を行う患者様ならびにご家族に対し、機器設置および定期点検などの機会に、安心して安全に使っていただけるよう機器の使用方法および注意点などについてご説明致しております。

また、一層の安全対策が図られるよう、酸素吸入中の喫煙および火気の危険性を充分ご説明し、火災事故防止のため引き続き努めて参ります。

＜報告の基準＞

「在宅患者居宅にて火災が発生し、患者様が死亡ないし重体もしくは重傷を負った場合」
(火災の発生を喫煙のみに特定せず、原因が特定できない場合でも報告に含む。)

日本産業・医療ガス協会 医療ガス部門まとめ(平成23年10月末時点)

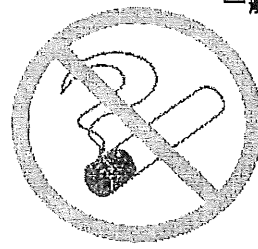
No	発生年月	場所	年齢(性別)	被害状況	原因(推定含)
1	平成15年12月	静岡県	70代(男)	死亡(焼死)	喫煙
2	平成16年5月	東京都	80代(女)	死亡	(不明:火元は台所)
3	平成17年2月	栃木県	70代(男)	死亡	喫煙
4	平成17年3月	広島県	60代(男)	死亡(焼死)	喫煙(寝タバコ)
5	平成17年3月	福島県	80代(男)	死亡(焼死)	漏電(電気敷布)
6	平成17年7月	兵庫県	60代(男)	死亡(焼死)	喫煙
7	平成17年11月	広島県	70代(男)	死亡(焼死)	(不明:寝タバコ)
8	平成18年3月	岡山県	80代(男)	死亡(焼死)	(不明)
9	平成18年5月	東京都	80代(男)	死亡(火傷)	煙草の不始末
10	平成18年8月	京都府	80代(女)	死亡(一酸化炭素中毒)	喫煙(寝タバコ)
11	平成18年8月	兵庫県	60代(女)	重症(火傷)→死亡	喫煙
12	平成18年10月	京都府	70代(男)	死亡(焼死)	喫煙
13	平成18年12月	京都府	10代(女)	死亡	ストーブ
14	平成19年3月	長野県	50代(男)	死亡(焼死)	喫煙
15	平成19年3月	愛知県	40代(男)	死亡(焼死)	(不明)
16	平成19年4月	千葉県	60代(男)	死亡(焼死)	(不明)
17	平成19年5月	兵庫県	80代(女)	重症(顔火傷)	喫煙
18	平成19年11月	福島県	80代(男)	死亡	喫煙
19	平成19年12月	東京都	80代(女)	死亡	(不明:火元は台所)
20	平成20年3月	山口県	70代(女)	死亡	喫煙
21	平成20年11月	東京都	70代(男)	死亡	ライターで線香に着火
22	平成21年1月	奈良県	90歳以上(男)	死亡(焼死)	ストーブ
23	平成21年2月	鹿児島県	50代(男)	死亡(焼死)	喫煙
24	平成21年3月	千葉県	80代(男)	死亡(焼死)	ストーブか仏壇
25	平成21年5月	埼玉県	70代(女)	死亡(焼死)	(不明:電源タップ付近)
26	平成21年10月	京都府	80代(男)	死亡(焼死)	喫煙
27	平成21年11月	兵庫県	60代(女)	死亡(焼死)	(不明)
28	平成21年12月	東京都	70代(男)	重症(火傷)→死亡	(不明)
29	平成22年1月	大阪府	80代(男)	重症(火傷)→死亡	喫煙
30	平成22年9月	神奈川県	60代(男)	死亡(焼死)	(不明:煙草の不始末か)
31	平成22年9月	東京都	70代(男)	死亡(焼死)	(不明:喫煙者でない)
32	平成22年11月	徳島県	80代(男)	死亡(焼死)	(不明)
33	平成23年1月	大阪府	40代(女)	死亡	(不明:喫煙か)
34	平成23年1月	兵庫県	80代(男)	死亡(焼死)	(不明)
35	平成23年4月	長野県	70代(女)	死亡(焼死)	煙草の不始末
36	平成23年4月	岡山県	60代(男)	死亡(焼死)	煙草の不始末
37	平成23年9月	和歌山県	70代(男)	死亡(焼死)	(不明:ローソクか)

※
※
※

(※印:平成23年12月更新分)



火気厳禁



禁煙

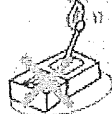
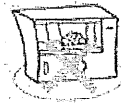
在宅酸素療法での火気との距離制限

1. 酸素濃縮装置、酸素ボンベ、
液化酸素容器からは
.....2m以上

裸火の周囲2メートル
以内に近づかない



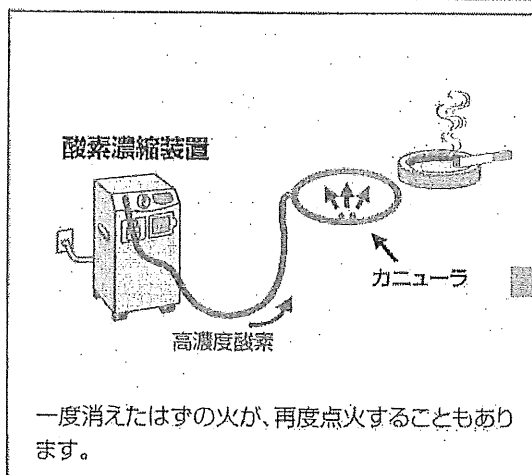
2. 液化酸素を設置型装置(親容
器)から携帯型装置(子容器)
に移充填するときは
.....5m以上



2m



3. 吸入用のカニューラ、携帯型
の酸素ボンベや液化酸素装
置及び延長チューブ、吸入中
の患者自身も火気の直近に
近寄ってはならない



出典: (独)医薬品医療機器総合機構 医療安全情報 No4 2008年6月

※ 火気の手扱いに注意し、取扱説明書どおりに正しく使用すれば、
酸素が原因でチューブや衣服等が燃えたり、火災になることはありません。

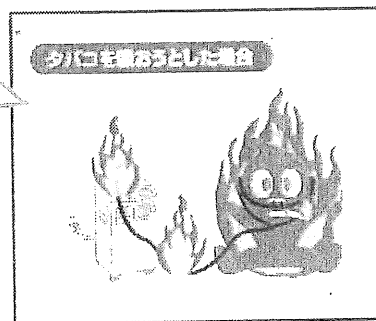
在宅酸素療法時は、 たばこ等の火気の手扱いにご注意下さい。

酸素は、燃焼を助ける性質が強いガスであり、火を近づけると大変危険です。
酸素濃縮装置等*の使用中には、火気の手扱いにご注意下さい。

(* 酸素濃縮装置、液化酸素及び酸素ボンベ)

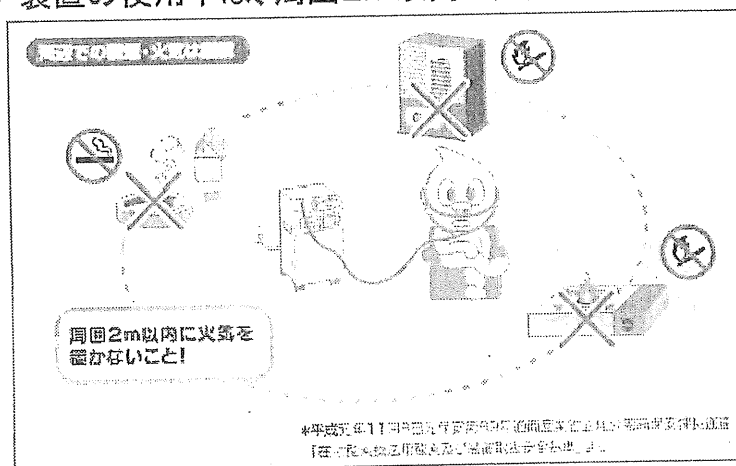
特に、喫煙に関連した火災事例が多く発生しています。
患者はもちろんその周りの人も
**酸素吸入中は、絶対に
たばこを吸わないで下さい。**

※ また、酸素を吸入していない際も、医師の指導に従い、禁煙を守って下さい。



【出典】PMDA医療安全情報No.4

◎ 装置の使用中は、周囲2m以内に火気を置かないで下さい。



【出典】PMDA医療安全情報No.4



禁 煙



火気厳禁

◎ 酸素濃縮装置等は、正しく使用すれば安全な装置です。
医師の指示を守って、安心して治療を受けて下さい。
また、治療を受けている患者へのご理解を宜しくお願いいたします。

(参考) OPMDA医療安全情報No.4 「在宅酸素療法時の喫煙などの火気取扱いの注意について」

(URL) http://www.info.pmda.go.jp/anzen_pmda/file/lrvo_anzen04.pdf

○ 一般社団法人 日本産業・医療ガス協会ホームページ

(URL) <http://www.jimga.or.jp/medical/special/dvd01.html>

○ 神戸市消防局ホームページ「在宅酸素療法中の火災危険について」

(URL) <http://www.city.kobe.lg.jp/safety/fire/information/zaitakusanso.html>



厚生労働省

ひと、くらし、みらいのために

(問い合わせ先)

厚生労働省医薬食品局安全対策課 電話: 03-5253-1111 (代表)

在宅酸素療法時の火気の手扱いに関する詳細は、

厚生労働省ホームページをご覧ください。

URL: <http://www.mhlw.go.jp/>